

財団法人 プラザ・コム
平成14年度 事業報告書

◇「平成14年度事業報告」に関する概要報告

以下、本財団の寄附行為第4条に定められた「事業」について、「平成14年度事業計画書」を基に、平成14年度事に行った事業の概要を報告する。

1 活動場所の提供

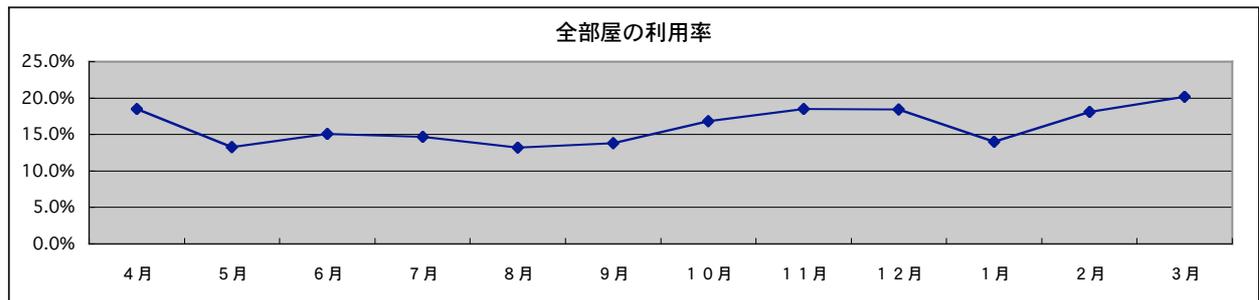
- (1) ふらざこむ1 (ボランティア支援センター)
2F / 3Fをボランティア団体等に対し、作業、会議、打ち合わせ等の場所として無償提供する。
- (2) ふらざこむ2 (多目的施設) 1Fとスポーツ広場
障害者の活動のため無償提供する。
宝塚市心身連を中心とした運営委員会を発足し、利用するための規則や活用の仕方を検討する。
- (3) ふらざこむ2 (多目的施設) 2F
さざんか福祉会へ知的障害者作業所分場として無償提供する。

結果

(1)ふらざこむ1

・ 2階の全部屋利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
全部屋利用率	18.5%	13.3%	15.1%	14.7%	13.2%	13.8%	16.8%	18.5%	18.4%	14.0%	18.1%	20.2%	16.2%
利用件数合計	130	104	121	135	99	115	141	149	131	108	134	162	1529
人数・合計	1784	1607	1789	1866	1291	1781	2200	2445	2462	1984	2401	2401	24011
開館日数	29	28	30	30	27	28	30	28	27	27	27	30	341



・ 2階の部屋別利用状況

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	年間	
料理室	4.6%	9.7%	10.6%	7.1%	8.0%	
会議室 21A	17.7%	20.4%	27.4%	30.9%	23.9%	中会議室 21.6%
会議室 21B	14.7%	14.1%	17.3%	19.0%	16.2%	
会議室 22	13.4%	13.2%	19.2%	18.6%	16.0%	
会議室 23	29.3%	24.5%	30.0%	29.5%	28.2%	
会議室 24	17.7%	17.1%	28.1%	32.1%	23.6%	
会議室 25A	11.7%	9.8%	14.7%	16.4%	13.1%	小会議室 8.4%
会議室 25B	1.6%	2.1%	8.3%	8.1%	5.0%	
会議室 26	8.8%	8.9%	12.5%	18.3%	12.0%	
会議室 27A	1.7%	6.2%	6.4%	3.3%	4.4%	
会議室 27B	7.0%	6.9%	7.9%	7.9%	7.4%	
プレイルーム	3.5%	3.6%	6.4%	6.6%	5.0%	
レコーディング R	30.7%	19.9%	19.2%	7.3%	19.2%	
工作室	56.6%	38.6%	39.4%	40.4%	43.5%	
開館日数	87	85	85	84	341	

- 注：利用率が低い原因→
- ・夜間の利用率が低い（2.3%）
 - ・元々利用率の低い部屋がある。（クッキングR、プレイR）
 - ・1時間毎に予約が可能のため、隙間の空き時間ができやすい。
以上より40%が限界と考える。
- ・3階フリールールの利用日数・・・9日間
 - ・考 察・・・現状の利用率はまだ低い、グラフからもわかるように徐々に上がっている。
10年後も対応できる施設として考えているので現状の低さは問題ないとする。
 - ・その他
 - >ぷらざこむ1利用者運営委員会
ぷらざこむ1利用者運営委員会を月1回開いた。
ぷらざこむ1を利用する上での規則を決め、「利用のきまり」としてまとめた。
更にいろいろな問題、要望に対し、委員会の中で審議し、決定した。
 - >ぷらざこむ祭り
「宝塚福祉コミュニティプラザ」内の3施設合同で、4月6日「ぷらざこむ祭り」が盛大に行われ、2000人以上の人でにぎわった。
- (2) ぷらざこむ2（多目的施設）1Fとスポーツ広場
- ・ぷらざこむ2利用者運営委員会を結成する。（第1回5月21日）
委員は障害者団体から7名、財団から2名
委員会で「ぷらざこむ2 利用の決まり」を決定した。
その中で、「ぷらざこむ2利用者は、毎回参加者全員の30%以上が障害者となるメンバー構成でなければならない。」とした。
 - ・利用状況 多目的室 47回 スポーツ広場 54回
(1日を9～13時 13～17時 17～21時の3回に分け、その各時間帯を1回とする)
- (3) ぷらざこむ2（多目的施設）2F
- ・さざんか福祉会へ、知的障害者のあしたば園分場として無償提供している。
 - ・この分場では、織機による「あしたば織り」を製作している。
 - ・利用者10名 職員 3名

2 福祉・ボランティアの啓発

- (1) ぷらざこむ1（ボランティア支援センター）1F
福祉・ボランティアの啓発のため、市民に開放する。
- (2) ガーデニング広場
福祉・ボランティアの啓発のため、市民に開放する。
市民による花壇作りの委員会をつくり、花壇の利用方法を考え、様々な人たちが参画できる市民花壇とし、市民に利用してもらう。
- (3) 新老人福祉センター／大型児童センターの敷地と将来施設用地
新老人福祉センター／大型児童センターの敷地と将来施設用地を市に無償貸与し、市民の為に使用する。
その結果として福祉・ボランティアの啓発に役立てる。

結 果

- (1) ぷらざこむ1（ボランティア支援センター）1F
- ・1階の活動スペースは、利用状況のデータを取ることはできないが、確実に利用者は多くなっている。
- (2) ガーデニング広場
- ・園芸ボランティアグループ「ぷらざこむのお花畑」が結成された。（初会合6月8日）
 - ・このグループによって、半年後には「お花畑」が完成し、維持管理されている。
 - ・広場はぷらざこむ1の開館時間に合わせて、誰でも入れるように開放した。

- (3) 老人福祉センター／大型児童センターの敷地と将来施設用地
- ・宝塚市と建物「新老人福祉センター・大型児童センター」の売買契約を結んだ。(4月1日)

割賦金総額	1、617、952、878円
その内、建設費原価	824、639、270円
利息相当額	793、313、608円

 38年間の割賦で返還され、その間土地は無償貸与とする。
 年当たりの割賦金 42、577、708円
 - ・宝塚市と「土地使用貸借契約書」を2件締結し、市に貸与した。(4月1日)
 - >1件は市に売り渡したプレミア宝塚(新老人福祉／大型児童センター)の土地。
新老人福祉／大型児童センターとして十分活用されている。
 - >もう1件は将来施設用地
現在はまだ活用されていない。

3 その他

- (1)「宝塚福祉コミュニティプラザ」の建設は、平成14年3月末の完成であるが、平成14年度においても使い勝手をよくするための細かな追加工事を行った。
- ・改造内容
 - >駐車場及びガーデニング広場の木柵工事
 - >ボランティア広場に自動散水設備
 - >ぷらざこむ2に駐車場番号親機設置
 - >その他
 - >費用 計3,187,800円
- (2)ぷらざこむ1の用途を変更し、それに合わせての改造と、使い勝手をよくするための改造を行った。
- ・用途変更の目的
 - ・ぷらざこむ1の用途は「事務所」であった。ボランティア以外の人達が使う場合、消防法上問題があり、「集会所」に変更した。
特に消防署からは、500名程度収容可能な3階が指摘されていた。
 - ・改造内容
 - >消火ポンプと各階2ヶ所に消火栓の設置
 - >各階エレベーター前に防煙シャッターの設置
 - >3階天井裏鉄骨に耐火被覆
 - >手洗い2ヶ所、流し台1ヶ所設置
 - >その他
 - >費用 計 24,440,650円
 - ・3階フリールームのイスを270席購入(費用 1100925円 15年度更に270席予定)

以上